

昆虫文献 六本脚 出版物・新着図書・雑誌情報

日頃より「昆虫文献 六本脚」をご愛顧頂き誠にありがとうございます。

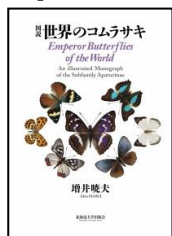
2025年8月号

総額表示義務化に伴い、2021年4月1日から、すべて税込表記（一部本体価格併記）となりますことご了承下さい。

<新着図書>

図説 世界のコムラサキ

Emperor Butterflies of the World



An illustrated Monograph of the Subfamily Apaturinae

増井曉夫, 2025.

A4, 376pp. (172col.pls 含) 上製・輸送箱入り。価格: 40,000 円 (税込 44,000 円) (国内送料サービス)

コムラサキ亜科全 21 属 97 種の標本写真 900 点以上をカラープレート 172 ページに図示しています。世界各地での採集・収集、ロ

ンドン自然史博物館などの所蔵標本を撮影してきた著者の約 40 年に及ぶ成果を集大成した専門図鑑となっています。カラープレートと本文解説ページにはタイプ標本 36 個体の写真や図が含まれ、また未記載の亜種と考えられる 16 個体も含まれています。可能な限り多くの種のお尻の側面写真も掲載され、同定の助けになるでしょう。解説篇（総論/各属・各種解説）は日本語と英語の併記となっています。タテハチョウ科の他の亜科との関係や、コムラサキ亜科内における各属の類縁関係について、形態や生態に基づいて記述があり、近年学術誌に発表された遺伝子の分岐解析の結果についても触れられています。本亜科の種や亜種の基産地、属・種・亜種の分類史、過去の文献上のタクサの誤記などについて考証があり、特に Hestina 属と Hestinalis 属との関係や、Rohana 属内における分類の混乱については詳しく触れられています。このほか、本亜科内の特定の種は、タテハチョウ科内の他の亜科やアゲハチョウ科、シロチョウ科、マダラガ科などの種との間に同所的斑紋収斂が見られることがあるため、こうした例について図示解説されています。これらの分類群の研究者にもお勧めします。本亜科の化石種について、現生種との関係や分類上の位置づけについての記述もあります。

The Jewel Butterflies



A monograph of the lycaenid genus

Hypochrysops

宝石の蝶 Hypochrysops (ニシキシジミ属) のモノグラフ

John Tennent & Chris Muller, 2025.

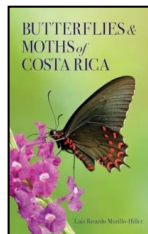
218x302mm, 517pp.+126pls, フルカラー, テキスト: 英語。価格 56,000 円 (税込 61,600 円)

複雑な虹色の翅表を持つ Hypochrysops (ニシ

キシジミ属)は、世界で最も美しい蝶のひとつとされ、「Jewel Butterflies」(宝石の蝶)という通称を持つ。本属の大半は樹上性で、樹冠の高いところに生息し、成虫が花に誘引されることはまれであるといえます。何十年もの間、単独の個体や 2~3 個体の標本しか見つかっていない種もあります。大部分の種はニューギニアとそれに関連する島々の森林に限られ、南はオーストラリア、東はニューヘブリディーズ諸島北部、西はモルッカ諸島周辺まで広がり、ウォーレス線の西側には小さなグループが 1 種だけ生息しているという。最近まで、57 種が認められて

いたが、今回 93 種が認められ、シノニムと 21 新種 30 亜種が記載されました。著者らは、20 年以上にわたり広範囲かつ詳細な調査を実施し、2 人で 25 万キロ以上を旅して、世界中の博物館、大学、個人のコレクションを訪問し、プロの昆虫学者やアマチュア昆虫学者と協力してきたという。また、分類学、命名法、同定に関する複雑で長年の誤りや、文献上の混乱が今回整理されています。この待望のモノグラフは、126 プレートに約 2,500 点の標本写真を掲載し、本属の全分類群の個体変異と地理的変異を余すところなく示しています。また、本文中にはさらに数百点の標本画像が掲載され、種の同定の助けになるとともに、歴史的標本（ジェームズ・クック (James Cook) が初めてオーストラリアを訪れた際に採集した蝶を含む）の解説、フルカラー分布図、交尾器画像、生息地の環境写真なども掲載されています。

Butterflies and Moths of Costa Rica



コスタリカの蝶と蛾

Luis Ricardo Murillo-Hiller, 2025.

216x138mm, 320pp., フルカラー, テキスト: 英語。価格: 8,300 円 (税込 9,130 円)

コスタリカの蝶と蛾 170 種についての包括的な実用書となっています。冒頭部のコスタリカの地理、気候、蝶蛾の生息地の状況に続いて、代表的な種の生態(幼虫・蛹・成虫の画像)や寄主植物・分布などの情報が解説されています。

中国蝶類図鑑

Field guide-book Butterflies of China



青山潤三, 2025.

A5, 137pp., フルカラー, テキスト: 日本語。価格: 4,800 円 (税込 5,280 円)

中国の蝶類 650 種が収録されたコンパクトな図鑑です。大陸から分離した日本において、中国は研究者や愛好家にとって「母なる大地」ともいえる存在です。しかし、中国の生物を解説した書籍は日本ではほとんど見ることはできません。中国の蝶の魅力

を身近に感じていただける一冊です。

Australian Beetles Volume 3 Polyphaga (Part 2)



オーストラリアの甲虫 第3巻

Hermes E. Escalona & Adam Slipinski (編), 2025.

281mm x 217mm, 712pp. (うちカラー125pp.), ハードカバー, テキスト: 英語。価格: 36,200 円 (税込 39,820 円)

比較的研究が遅れているオーストラリアの甲虫類を包括的に扱ったもので、地球上のどこにも見られない珍しい系統やユニーク

な進化を遂げた系統が数多く含まれています(全4巻発行予定)。第3巻(Polyphaga, Part 2)は12章からなり(第2巻からの続きなので、本巻では37章から始まります)、オーストラリアの甲虫

チョッキリモドキ科 (Nemonychidae)、ヒゲナガゾウムシ科 (Anthribidae)、オトシブミ科 (Attelabidae)、ミツギリゾウムシ科 (Brentidae)、ゾウムシ科 (Curculionidae)、キクイムシ亜科 (Scolytinae) とカミキリムシ科フトカミキリ亜科 (Lamiinae) の重要な情報と同定キーが掲載されています。各章にはモノクロ写真、高解像度画像、図面が豊富に掲載されています。各章は、オーストラリア、ポーランド、アメリカの 11 人の寄稿者によって執筆されています。

Weather stations for biodiversity: a comprehensive approach to an automated and modular monitoring system

生物多様性のための観測システム論

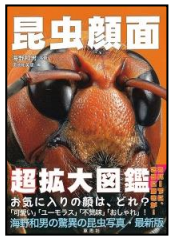


Johann-Wolfgang Wagele & Georg F Tschan (Eds), 2024.

146 x 208mm, 218pp. テキスト：英語。価格：18,000 円(税込 19,800 円)

生物多様性の損失は、地球が直面している最大の問題のひとつです。気候変動と同様に、その根本的な原因が人為的なものであることは明らかですが、生物多様性の変化を空間的・時間的に記録し、定量化することは困難です。この問題に取り組むための有望なアプローチとしては、最先端のセンサー技術と生物多様性情報科学を組み合わせ、モニタリングの自動化のために専門家の知識を活用することが挙げられます。気象観測所と同様に、種の多様性モニタリングのためのモジュール式自動マルチセンサーステーション (AMMODs) のネットワークは、観測を行い、種を特定し、さらに分析可能なデータベースへとデータを転送することができます。AMMOD は、ほとんどメンテナンスを必要としない一方で、より良い時間的・地理的な範囲と解像度を達成することが可能です。本書では、AMMOD ステーションを使用した 3 年間のプロジェクトで得られた経験について紹介しています。植物、昆虫、鳥類、哺乳類など、いくつかの重要な生物群が調査されており、植物の揮発性有機化合物を検出する装置、遺伝学的手法、オーディオレコーダー、昆虫やカメラのトラップがテストされ、電源やデータ管理のソリューションについても検証が行われています。著者は、本書が生物多様性の長期モニタリングとその保全の改善に貢献するための青写真となることを願っているといっています。

昆虫顔面 超拡大図鑑



海野和男 (著, 写真)・伊地知英信 (著, 編集), 2025.

182 x 257mm, 128pp., 価格：3,500 円 (税込 3,850 円)

昆虫写真家・海野和男氏のテーマの一つ「昆虫の顔」を撮影することで、以前に他社から『昆虫顔面図鑑』を出して評判になったが、本書はそれから 10 年以上たって、撮りためた新作を「超拡大図鑑」として 150 点の作品をまとめたものとなっています。本書に並んだ昆虫の顔は、多くの人にとって未知なのですが、よく見ると人間と共通した形態や目・鼻・口などの配置が見えてくるような気がします。バッタ類は総じてのんきな顔、カマキリ類は凶悪な面構え。草食系のバッタは目が横についているため、肉食系のカマキリは獲物を狙うために前についていることは、哺乳動物などと似ています。コラムや各解説ページでサイエンスライターの伊地知英信氏が「昆虫と顔」について、最新の「顔認証」技術や「進化生物学」の話なども含めたさまざまな話題を各種展開しています。

<新着 月刊誌・季刊誌>

月刊むし (むし社)

2025 年 9 月号 (655 号) B5, 64pp. 1,430 円 (税込・送料別)



【表紙】ジャノメチョウ 大屋厚夫, 今月のむし アオマダラタマムシ 林 信一, 「世界のフナと虫たち」その後 24. ウルミの森 永幡嘉之, 富山県で晩夏に春型とみなせるミヤマカラスアゲハ 2 頭を採集 米田匠吾・岩田朋文, 日本未記録種ナノコウスナゴミムシダマシ (新称) の発見 市川顕彦・秋田勝己・益本仁雄, 三宅島におけるカラスアゲハ本土亜種の記録 天野信之

介・楠本優作, 沖縄島で採集したモンキアゲハ異常型 青木一幸, 佐賀県のキョウトアオハナムグリ 廣川典範, 茨城県におけるトゲナナフシの追加記録と定着について 札 周平・小松崎佑介, 群馬県のヒメキノコムシ科 金井直樹, 「擬惑者」を考える 中西元男, 日本産および台湾産ヒメマルゴキブリ属の和名について 柳澤静磨, 東京都葛飾区におけるコオイムシの記録 武笠友美, KIROKU・HOKOKU (21 編) 滋賀県彦根市でアメリカアカヘリタマムシを採集 小野えりか, チュウフオオアオハムシダマシの北限記録 小笠原 隆, テバリモンシロモドキを石垣島で採集 青木一幸, 兵庫県と大阪府におけるイワサキケブカカミキリの記録 真部永地・塩崎明生・奥田好秀, 山形県初記録のクロキノゴミムシダマシを採集 三塚 涼・大瀧詠司, 宮古島と来間島でハマゴウハムシを採集 茶木慧太・水流尚樹, ツシマヒメサビキコリを秋田県男鹿市で採集 佐藤福男, 群馬県初記録となるツヤハダゴマダラカミキリを採集 篠崎里江・西浦雄仁, 越冬明けホウジャクの活動を確認・撮影 立岩幸雄, トカラ列島悪石島でコガタノゲンゴロウを採集 上林昭景・後藤善和, シロスジヒゲナガハナバチの異常時期発生について 須田博久, 山梨県におけるチビクワガタの新産地 富岡真澄, アカアシクワガタをキリより採集 田中裕二, カタシロゴマフカミキリ上翅の微毛消失個体 光永 進, 富山県で確認されている数種類の蛾類 川端一旗, ギンボンシヨウモンの異常型を採集 宮野功暉, 山梨県におけるモンクチビルテントウの初記録 神尾大地, 愛知県豊田市でイチモンジハムシを採集 橋本望来, 埼玉県さいたま市内においてウラナミシジミの冬型を 2 年連続で撮影 高崎 明, 種子島および奄美大島におけるケシムスカメムシの初記録 加藤雅也・渡部晃平, 後翅に翅端斑があるヒメアカネ♀を採集 白澤良一, 虫誌ダイジェスト AESCHNA・他 本誌編集部, 編集後記

昆虫と自然 (ニューサイエンス社)

2025 年 9 月号 (Vol.60 No.10) B5, 40pp. 1,682 円 (税込 1,850 円)



特集・AI を利用した昆虫の画像識別の現状と将来

Current status and future of insect image recognition using AI

総論：深層学習を用いた昆虫の画像認識 紙谷 聡志, 水田におけるイネウナカ類の発生量調査への画像認識技術の活用 矢代 敏久, 農業害虫の発生予察調査における自動識別 AI の利用 井村 岳男, 画像認識技術を用いた

チョウ斑紋の地理的変異に関する定量的解析 矢後 勝也・平川 翼, 行動生態学における画像認識技術の活用 橋本 佳明, INSECT REPORTS AI を活用したコロロギ生体情報把握システムの開発 秋山 大知・Thanakorn Kaewpplik・佐々木 豊, 連載 未来の昆虫学者たち (11) 東京都立園芸高等学校昆虫部, INSECT REPORTS 再びミナミヒメヒョウタンゴミムシ (鞘翅目, オサムシ科) について 森田 誠司

＜新着 学会誌・同好会誌＞

インセクトマップオブ宮城（宮城昆虫地理研究会）

No.62 (2024年12月20日) B5, 105pp., 価格: 2,200円 (税込)

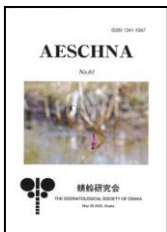


家庭用電気スタンド仕様の高演色LED照明を用いた小型の蝶類の標本撮影と写真について 関剛, シンジュキノカワガの営繭場所 阿部剛, 宮城県東松島市大浜田湿地の昆虫類調査記録 高野創士・五十嵐由里, 分布拡大中のカメムシ目 3 種、ツマベニヒメナガカメムシ、ウシカメムシ、ツヤアカカメムシの宮城県と東北地方での確認状況 町田禎之, 宮城県RDB関連トンボ類の2021

年から2024年の記録 玉田明洋・白石拓也・中瀬潤・牧野周, 宮城県内における2015年以降のウラミスジシジミおよびフジミドリシジミの越冬卵採集記録と飼育で得た成虫について 関剛, 旧北上川河口におけるハマナデシコ移植地の秋季の昆虫相 町田禎之・遠藤達也・阿部剛・五十嵐由里, 宮城県南部におけるシンジュキノカワガの発生状況 阿部剛, 宮城県北西部の奥羽山脈域におけるヒメギフチョウの分布状況 武田哲, 宮城県北部の蛾類 (20) 青木俊彦, 宮城県産蝶類旧市区町村末記録種等の記録および初見・終見記録等 柳田則明, 草刈りの影響を受けたコキマダラセセリ 続報 阿部剛, 加美町宇津野のヒメギフチョウの件 阿部祐二, 虫との付き合い昭和・平成・令和 その6 高橋雄一, 【宮城の昆虫データベース】2024年の昆虫類採集記録 渡辺啓子, 2024年11月の蝶類採集・確認記録 長谷川源, 【フィールドスケッチ (短報)】仙台市広瀬川の河原でマミジロノミバツタを採集 紺野広昭, ツルグンバイを宮城県から初記録 紺野広昭, ムツセモンササキリモドキを宮城蔵王で採集 柳田則明, 宮城県内で春型のナガサキアゲハを採集 白石拓也・伊藤智, 仙台市青葉区にてコウノハチを採集 紺野広昭, 名取市でアカボシゴマダラ越冬幼虫を確認 細見周平, 宮城県旧北上川河口におけるオオツノカメムシの確認記録 町田禎之, 高橋雄一先生の標本箱から 2001年採集のキマダラカメムシを発見 紺野広昭, 宮城県大崎市古川でアカシジミを採集 阿部祐二, 宮城県名取市樽水ダムでタイコウチを確認 小池花苗, 宮城県七ヶ宿町におけるカワラバツタの記録 阿部剛, 高橋義寛氏が採集したウスバカゲロウ科 2 種の記録 紺野広昭, 保谷忠良氏採集のヒガシツバヒツゴミムシシガマシ 五十嵐由里, 名取市内でメネアカナガヒツギを採集 紺野広昭, オオセイボウの採集記録 齋藤昭, 宮城県松島町におけるキンイロネクイハムシ産地の消失例 紺野広昭, 2024年の遅い時期におけるツマグロヒョウモンの採集・確認記録 長谷川源, 1本のツバキで越冬中のウラギンシジミ 8 頭を確認 長谷川源, 自宅の庭で観察した蝶類 (2025 年春) 目崎喜治, 訂正 本誌 59 号「2021-2023 年の蝶類採集・確認記録」矢崎雅巳, 訂正 本誌 61 号「2024 年の蝶類採集・確認記録」長谷川源

AESCHNA (蜻蛉研究会)

No.61 (2025年5月発行) A4, 98pp. 4,000円 (税込・送料別)



【報文】北海道産コシボソヤンマの青色複眼の検証 横山透・佐藤壮実・広瀬良宏, 青森県におけるネキトンボの侵入後の定着状況 幸田洋平, 福井県におけるタイワンウチワヤンマの追加記録 高橋整・高橋忠・高橋聡香・高橋橙司・和田茂樹, 2023~2024年に三重県で確認した希少トンボ類の状況 松沢孝晋, 奈良県五條市・大淀町におけるベニトンボ標識調査 片谷直治・片谷俊彦,

都市公園内に生息するナニワトンボの「翅脈による個体識別法」を用いた生態観察 野口隆, 大阪府・和歌山県・兵庫県でのハネビロトンボの採集記録と考察 興膳昌弘, 過去の記録を資料とした兵庫県版レッドデータ対象種選定の実績 青木典司・東輝弥,

鹿児島県徳之島におけるコモンヒメハネビロトンボの記録 興膳昌弘, 夕方に水域外で観察されたヤエヤマサナエの交尾行動 喜多英人・須田真一・中川雅允, トンボ幼虫の採集・飼育記録, 第15報 吉田雅澄, キロハラビロトンボの北海道での飼育記録 横山透・遠藤直樹, 北部タイで採集されたコヤマトンボ属 (Macromia 属) の1末記録種について 村木明雄, 【短報】欠損部位の2カ所がほぼ完全に再生したアジアイトトンボの幼虫 横山透, 茨城県におけるオナガアカネの記録 (2024 年) 森田倫太郎, 山梨県にてハネビロトンボを初記録 沓間妙子・二橋亮・尾園暁, 沖縄島でのヒメキトンボの撮影と観察 興膳昌弘, 愛知県で3月にウスバキトンボを目撃 吉田雅澄・大内秀之, タイリクアカネを滋賀県で30年ぶりに記録 小北剣真, オキナワミナミヤンマ多数回産卵の観察例 西田時弘, 新潟市ジュンサイ池で見られるモノサシトンボ属の終齢幼虫の形態について 梅田孝, トンボ数種の卵期間と幼虫期間について 梅田孝, オセアニアハネビロトンボ幼虫の卵期間及び幼虫期間 山田美波・梅田孝, 【表紙】ベニトンボの飛翔 江平憲治

かまくらちょう (三浦半島昆虫研究会)

No.101 (2025年2月発行) B5, 48pp., 1,500円 (税込・送料別)

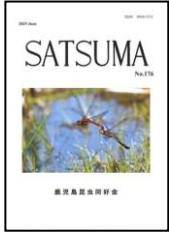


アサヒナカワトンボ燈色みの淡色型の記録 小口岳史, 市販の水草に混入していたハラボソトンボ幼虫 小口岳史・岡崎健太, 三浦半島におけるショウリョウバッタ成虫の体色変異 小口岳史, 【虫のたより】ムラサキシジミ越冬個体のみを撮影 高橋颯太郎・中村進一, ヤマトシジミの幾つかの異常型 熊沢深一・中村進一, 横須賀市観音崎公園で追加採集されたオクワガタ 佐野真吾,

横浜市金沢区の企業内のコンクリート池から採集されたチャイロチゲンゴロウ 佐野真吾・亀岡譲, 三浦市における外来種トリアメンボの記録 佐野真吾・亀岡譲, 鎌倉中央公園でアオタテハモドキを採集 飯田博茂, カヤキリ褐色型の記録 小口岳史, ツバメシジミの美しい個体と矮小個体の報告 熊沢深一・中村進一, 横須賀市内で撮影したアカガキメムシの集団 海野葵, 横須賀市長坂の荻野川親水広場付近でアオタテハモドキを撮る 長島清, 平塚市で12月にアゲハチョウを目撃 志澤宏一・堀田佳之介, オビカワウンカを横須賀市で採集 小口岳史, 横須賀市でオナガミスアオを採集 大熊宏明, センノキカミキリの飼育下での生存期間の1報告例 中村進一, 三浦半島で撮影したカ類2種の記録 小口岳史, 横須賀市内におけるキマダラカメムシの追加記録 大熊宏明, 横須賀市で採集したキマダラカメムシ 小口岳史, 三浦市でキマダラカメムシを採集 芦澤一郎, スジグロボタルを逗子市で採集 小口岳史, 三浦市のノコギリカミキリの記録 芦澤一郎, 11月に観察したコジャノメ 小口岳史, コジャノメの白帯の発達した個体を採集 中村進一, ヤマトガガンボモドキを逗子市で採集 小口岳史, 小田原市根府川の海岸でムシヤクロットバメシジミを撮影 小口岳史, 横須賀市内におけるヒメマイマイカブリの追加記録 大熊宏明, 3月に栄光学園でゲンヤンマ♀を採集 宮野功暉, 【追悼・鈴木裕会員】(序文・略歴)鈴木さんと「沢山池の里山」 宮原宗久, 鈴木裕氏との思い出 小口岳史, 鈴木さんへ 小畑裕, 形・色彩の妙, カメムシの世界への誘い 芦澤一郎, 鈴木裕氏の思い出 住井國彦, 今三昆研に居る理由 石川順也, 鈴木裕さんを偲んで 名尾良英, 追悼 鈴木裕さん 柳本茂, 鈴木さん「虫を愛でながら」 中村進一, 鈴木さんとの約束 内船俊樹, 鈴木裕氏今のメッセージ 角田巨・高橋颯太郎・後藤渚・後藤裕子・前田峻太・前田祐子・長崎仁平

SATSUMA (鹿児島昆虫同好会)

No. 176 (2025 年 6 月) B5, 152pp., 1,500 円 (税込・送料別)



鹿児島県のアキアカネの衰退を考える 松木和雄・江平憲治, 南薩地域で 17 年ぶりにトラフトンボを目撃 橋口修平, 熊本県 2 例目のオオハラビロトンボの記録 山口隆大・山口雅人, 熊本県人吉・球磨地方および県北地域でネアカシヤンマ初記録 山口隆大・今村大智・宮川統, トカラ列島口之島のトンボの記録 (2017 年 7 月および 2018 年 9 月) 小浜継雄, トカラ列島宝島の

トンボ 2017 年 7 月の記録 小浜継雄, オオアイトトンボと連結したホソミオツネトンボ 瀬戸口義継・江平憲治, ムカシトンボに連結を試みたダビドサナエ 江平憲治, オオシオカラトンボ中琉球亜種ひとタイワンシオカラトンボ♀の異種間連結を観察 喜多英人・松比良邦彦・中川雅允, 薩摩川内市倉浦にてベッコウトンボを目撃 今村久雄, 薩摩川内市小比良池でベッコウトンボの繁殖行動を目撃 江平憲治, ヨソボシトンボとベッコウトンボの交雑個体? を撮影 江平憲治, 屋久島におけるリュウキュウアサギマダラの動静 (7) - 記録的寒波に耐えて 2024~25 年も越冬- 守山泰司, 24 年に熊本県で採集したクロマダラソテツジミ 竹内尚志, 屋久島における 2024 年の迷蝶記録-ミダスルリマダラ・マルバネリマダラを採集- 久保田義則, 2024 年に鹿児島県で採集したシロウラナミシジミ 竹内尚志, 屋久島で採集した迷チョウの記録 (2024 年) 守山泰司, 2024 年南薩の迷蝶の記録 小宮裕生, 2024 年に鹿児島県と熊本県で採集したアマミウラナミシジミとルリウラナミシジミ 竹内尚志, 2024 年 11 月鹿児島大学で採集したチョウールリウラナミシジミなど一 三橋渡, 屋久島におけるクロボシセセリの調査記録 (2024~25 年) 守山泰司, クロボシセセリが始良市にも北上して分布 田中洋・吉本晃大, いちき串木野市でウスイロコノマチョウを採集 井上寿昭, 種子島で 11 月にウスイロコノマチョウ夏型を目撃 尾形之善, 鹿児島県本土のシロウラナミシジミの記録 (2024 年 10 月~2025 年 1 月) 岩坪惠三・大迫達洋, 高隈山御岳でタッパンリリシジミを採集 大迫達洋, 水俣市でルリウラナミシジミを採集 守山泰司, 種子島におけるアオタテハモドキの集合睡眠 尾形之善, 2024 年アオタテハモドキを南九州市川辺町で目撃 橋口修平, 2025 年春 南薩にカバマダラ アオタテハモドキが見られなかった記録 金井賢一, 4 年振りにメスアカムラサキに出会いました!! 木佐貫彰, メスアカムラサキ長崎・鹿児島・沖縄の未発表の記録 溝上誠司, 佐賀県のメスアカムラサキ 溝上誠司, 長島でメスアカムラサキを採集 守山泰司, 2024 年メスアカムラサキの記録 大迫達洋, 2024 年指宿市のリュウキュウムラサキの記録 大迫達洋, ホシアサガオ群落でリュウキュウムラサキ♀を採集 守山泰司, 鹿児島市におけるリュウキュウムラサキ等の目撃記録 芝敏晃, リュウキュウムラサキの交尾について 井上寿昭, オキナワカラスアゲハの交尾を観察 喜多英人, ウスキシロチョウの交尾について 井上寿昭, ルリシジミの交尾について 井上寿昭, 晩秋の佐多で見かけたチョウ 熊谷信晴, 加治木町のトラフシジミの記録 田中洋, 九州本土におけるツマベニチョウの確実な最初の記録 岩崎郁雄, 鹿児島市のコツバメの記録 (2019~2025 年) 小宮裕生, 霧島永水でコツバメが見つからなかった記録 金井賢一, 宮崎県五ヶ瀬町でキハネセセリを採集 竹内尚志, 2024 年 11 月指宿市で採集したチョウ 上野日向大, 熊本県山鹿市で採集したシートテハについて 松岡善一, 熊本県球磨郡山江村におけるスギタニルリシジミの記録 守山泰司, 熊本県産スギタニルリシジミの記録 松岡善一, 2025 年春鹿児島市でモンシロチョウが激減 熊谷信晴, 屋久島におけるアサギマダラのマーキング調査(36)-南下異変の 2024 年秋季報告- 久保田義則, アオタテハモドキ♀が腐果で吸汁その 2 小浜継雄, モンキアゲハ後翅白紋の異常型 田中洋, 2024 年屋久島で大発生したキオビエダシヤク 久保田義則, 2024 年鹿児島市坂之上でキョウチクトウスズメを目撃 橋口修平, 2024 年鹿児島大学

周辺でキョウチクトウスズメ幼虫を目撃 橋口修平, 2024 年に熊本県阿蘇市でオオルリオビクチバを採集 竹内尚志, 喜界島でムラマツカノコを採集 守山泰司, 2024 年に採集したサンカクチバとナカグロクチバ 竹内尚志, SATSUMA174 号の訂正 104, 鹿児島県産ハナバチ類 (ハチ目ミツバチ上科) の記録 VIII, 補遺その 2 (改訂集計表 1~6 付) 幾留秀一, 種子島で大発生したスジハサミムシ 尾形之善, フクダアリバチ覚え書き 福田晴夫, 徳之島におけるクビアカモリヒタゴミシの追加記録 村田拓也・山本磨慧, 九州におけるサムライアリの分布 渡邊啓文・寺山守・山根正気, 種子島で 11 月にアブラゼミを目撃 尾形之善, クマゼミの終鳴記録総括 金井賢一, 10 月にオオジュウゴホシテントウを川辺町で採集 橋口修平, 鹿児島市におけるヒゲナガヘリカメムシの採集記録 芝敏晃, ヒゲナガヘリカメムシの記録 金井賢一, アマミトガリナナフシの記録総括 山下秋厚・秋葉佳伸・金井賢一, 沖永良部島における甲虫 2 種の記録について 山本磨慧, 種子島で採集観察した昆虫 (2021 2022 年) 大坪修一, オオカマキリが 2 月にふ化した 田中洋, ウシカメムシを南九州市川辺町で採集 橋口修平, 鹿児島市の採集会で採集観察できた昆虫の記録 (2024 年) 大坪修一, 湧水町栗野岳カシワ林周辺調査報告 (2024 年夏) 二町一成・若松昭伸

房総の昆虫 (千葉県昆虫談話会)

No.76 (2025 年 7 月発行) 103pp, 3,143 円 (税込・送料別)



【表紙】歩くハラグロオオテントウ 樽宗一郎, 【報文】「東京大学千葉演習林の昆虫相」の追加と訂正 その 9 斉藤明子・村川功雄・西内李佳, 千葉県における水生昆虫 10 種の追加記録 山崎駿・渡部晃平・内田大貴・中村涼・高野季樹・秀健吾, 成田市で採集したシデムシの記録 中村涼, 千葉県レッドリスト 2019 年改訂版に掲載されている甲虫の採集記録 中村涼, 千葉県の

甲虫確認種数 (2024 年 3 月現在) 鈴木勝・斉藤明子, 千葉県産カギアシソウムシ族に関する覚書 (2) (含千葉県産カギアシソウムシ族目録) 中村涼, 四街道市のトンボ第 3 報 松木和雄・太田祐司・小松新, 千葉県蛾類目録 2022 の訂正 斉藤修, 2024 年タイワンウチワヤンマの東京都・千葉県分布拡大の記録 互井賢二, 船橋市白幡川と二重川のアジアサナエ属について III 互井賢二・高橋邦年・重田健吾, 東葛飾地域のホソミイトンボ 松木和雄・為貝和弘・鈴木康彦, 山武郡芝山町のトンボ 松木和雄・小松新, 印旛地域のホソミイトンボ 松木和雄・太田祐司・小松新, 自宅に造成したビオトープで確認された水生昆虫類 村串佑允・山崎駿, 千葉県北西部の注目すべきキリガ類採集記録 松本浩一, コブドウトリバの観察と記録 尾崎煙雄・大島健夫・斉藤修, 浦安市で採集された水生コウチュウ目およびカメムシ目の記録 高野季樹・内田大貴・小林恵子, 多古光原産でヒラアシキバチ 2 種を確認 日暮卓志・伊藤敏仁・斉藤洋一, 千葉県立房総のむらにおける蝶類調査報告 大塚市郎, 2024 年千葉県におけるアサギマダラの標識調査 安川憲・斉藤明子・樽宗一郎, 2024 年千葉県におけるヒメアカタテハの標識調査 安川憲・斉藤明子・樽宗一郎, 2024 年千葉市におけるクロマダラソテツジミの調査報告と千葉県への侵入ルート推定 大塚市郎, 千葉市と市原市北東部の Neope 属の記録とヤマキマダラヒカゲに関する一考察 瀬戸昭, 【短報】市原市福増でマイマイカブリを採集 鈴木智史, 千葉県 2 例目のキムネツツカクコムシの記録 日暮卓志, 千葉県でコウヤホソハナカミキリを採集 日暮卓志, 君津市で採集したミヤマトフタガタカメムシ 望月政樹, ショウグモに捕食されたクロマダラソテツジミ 吉川厚之, 富津市でコバハリカメムシを採集 望月政樹, 12 月にスジグロシロチョウを採集 吉川厚之, 市原市でカタヘニデオキスイを採集 田久保豊一・鈴木勝, 八街市でアカアシオアオカミキリを採集 日暮卓志, 君津市でゴホンダイコクコガネを採集 望月政樹, 南房総市でドウイロチビタマムシを採集 望月政樹, 成田市でクリサビカミキリ

を採集 源河正明, シルビアシジミの性比異常とボルバキア 吉川厚之, 千葉県におけるアカアリツカエンマムシの記録 遠藤夢空, 鋸南町でハネナシナグクチキを採集 西泰弘, 千葉県夷隅郡大多喜町におけるキベリナガアシドロンシの記録 高野季樹・内田大貴・山崎駿・古旗嶺一, 佐倉市でヨツモンカメノコハムシを確認 鈴木勝, 習志野市の外来甲虫2種 斉藤明子, 我孫子市でヒメアカネを確認 為貝和弘・松本和雄, 千葉市小倉町でコシボソヤンマを発見 互井賢二, リスアカネとヒメアカネの千葉市の追加記録 互井賢二・勝又紳一郎, 我孫子市でハイマダラコヤガを採集 斉藤 修, 佐倉市でリスアカネを再発見 松本和雄・小松新, 千葉県立中央博物館生態園と青葉の森公園でホソミイトトンボを確認 松本和雄・太田祐司, 2024 年千葉市坂月川のヤマサナエ 互井賢二, 市川市でハネビロトンボを発見 互井賢二・勝見結斗, 船橋市のホソミイトトンボ追加記録 互井賢二・田中直義, 富津市でツツミノモドキキバガを採集 田中敏博, 千葉県初記録のシロテンコウモリを勝浦市で採集 金子美織・松本光史, いすみ市でクロモンシタバを採集 渡辺弘, 館山市でベニコマダラヒトリ成虫の群飛を観察 渡辺弘, 君津市でキュウシュウヒメジャクを採集 田中敏博, 市原市でコムラサキを採集 吉川厚之, 市原市におけるベニシジミの色素異常個体の記録 吉川厚之, イチモンシチョウの異常型を採集 吉川厚之, 長生郡長柄町でヒナカマキリを確認 高橋圭二, *Nipponocalisus ishikawanus* (カメムシ目ヒラタカメムシ科) の千葉県からの初記録 嶋本習介・亀澤洋, 成田市におけるエサキナガレカタピロアメンボの記録 中村涼, 千葉市でニッポンツノヤセバチを採集 斉藤洋一, 県北部から得られたサシガメ科 *Haematoloecha* 属 2 種の記録 小岩鷹明, 富津市でテングチョウの変異個体を採集 田中敏博, 千葉市若葉区富田町でオオチャバネセセリを採集 鈴木智史, 木更津市でアカギカメムシを目撃 尾崎俊文, 白井市でタイワントビナナフシを採集 斉藤洋一, 君津市で採集した *Scythropiodes* 属 1 種の記録 田中敏博, 八街市でトモンハナバチを採集 日暮卓志, 成田市でチュウゴクアミガサハゴロモを採集 源河正明, 松戸市と流山市でヨコツナツチカメムシを初記録 石川諒, 館山市でクロチビズムシを採集 山川宇宙・内田大貴・高野季樹, 富津市でフタトゲムギカスミカメの異常型を採集 望月政樹・安永智秀, 木更津市でのクロマダラソテツシジミの採集記録 尾崎俊文, クロマダラソテツシジミの尾状突起異常 吉川厚之, 【訂正】お詫びと訂正 編集長, 「飼育下におけるフチグロトゲエダシャクの蛹期間について」(織戸・荒川, 2024) の訂正 織戸昌則・荒川正之

誘蛾燈 (誘蛾会)

No.261 (2025 年 8 月) B5, 43pp. 価格: 2,000 円 (税込・送料別)



フチグロトゲエダシャク神奈川県山地での記録 中島秀雄・栗原草太, エチゴマダラメイガは幻か? 宮野昭彦, 東京都初記録を含む奥多摩町高丸山の蛾若干 小林真大, キンギンボクを食するクチブサガ科 2 種 小木広行, 北海道南部のフサヤガ亜科, トラガ亜科, セダカモクメ亜科, カラスヨトウ亜科, モクメキリガ亜科の記録 亀田満, 北海道南部のシタバガ亜科の記録 亀田満, ハイジロオオキバガの寄主植物について 小松利民, 大阪府と和歌山県でシンジュキノカワガ (コバガ科) を春期に採集 山内悠司・鈴木真祐, クニガミチビナミシャクを西表島で採集 間野隆裕, 宮城県と岐阜県で確認された *Carpatolechia* 属の 1 種 宮野昭彦・青木俊彦, 東京都高尾山におけるオシベサヤチホコの記録 平坪和規・小林真大・飯森佳和・安西裕・神澤由己, クロムラサキヒメハマキ岐阜県の記録 宮野昭彦, *Moerarchis rectitrigonia* Yang & Li モクメヒロズコガの愛知県と三重県の記録 間野隆裕, モクメヒロズコガ岐阜県の記録 宮野昭彦, 山梨県樹形山で得た小蛾類 2 種 金子岳夫, 新潟県胎内市で得たクロモンシタバほか 3 種の記録 廣井聡, オオトモエとヤエナミクチバガ吸水 長田庸平, アカマダラヨトウ, ハスモンヨトウの野外における卵塊

富永智

誘蛾会オリジナル 日本の蛾マグカップ

サイズ: 口径 80mmx 高さ 95mm, 箱入り

価格: 1,182 円 (税込 1,300 円)

伝統のある誘蛾会が、限定製作したマグカップ。ベニスズメ・マイコトラガ・オナガミズアオなど美麗種が描かれています。



誘蛾会オリジナル カバシタムクゲエダシャク ソフトタオル

サイズ: 107cmx 高さ 20cm

価格: 637 円 (税込 700 円)

伝統のある誘蛾会が、限定製作したソフトタオル。美麗種かつ絶滅危惧種である「カバシタムクゲエダシャク」がデザインされています。



誘蛾会オリジナル カバシタムクゲエダシャクのキーリング

素材: アクリル製

大きさ: 約 40 x 67mm

価格: 455 円 (税込 500 円)



昆虫文献 六本脚

URL: <http://kawamo.co.jp/roppon-ashi/>

EMAIL: roppon-ashi@kawamo.co.jp

〒102-0075

東京都千代田区三番町 24-3 三番町 MY ビル 3 階

TEL: 03-6825-1164 FAX: 03-5213-1600

定休日: 土、日、祝日 営業時間: 13:00~17:30

●当社の口座は以下の通りです。

ゆうちょ銀行口座: 記号 001202 番号 18588

郵便振替口座: 00120-2-18588

銀行口座: 三菱 UFJ 銀行 室町 (ムロマチ) 支店

普通預金 3962446

※口座名義は「昆虫文献 六本脚」

(コンチュウブンケン ロッポンアシ)

